

平成28年12月伊勢原市教育委員会定例会議事録

平成28年12月27日(火)午前9時30分から伊勢原市教育委員会定例会を伊勢原市役所第2委員会室に招集した。

1 出席した委員は次のとおり。

委員長	永井武義
委員長職務代理者	重田恵美子
委員	菅原順子
委員	渡辺正美
教育長	鈴木教之

2 会議説明のための出席者は次のとおり。

教育部長	谷亀博久
学校教育担当部長	大高敏夫
歴史文化推進担当部長	山口譲
教育総務課長	古清水千多歌
学校教育課長	守屋康弘
指導室長	石渡誠一
社会教育課長	小谷裕二
文化財課長	立花実
スポーツ課長	小巻宏幸
教育センター所長	本多由佳里

3 会議書記は次のとおり。

教育総務課 総務係長	瀬尾哲也
------------	------

4 議事日程

議事	日程第1	前回議事録の承認
	日程第2	教育長報告

○

午前9時30分 開会

日程第2 教育長報告

- 委員長【永井武義】 日程第2「教育長報告」をお願いいたします。
- 教育長【鈴木教之】 本日は4件ございます。最初の1件目は平成29年度当初予算の要求状況で、これは私から報告します。残りの3件はそれぞれ所管する部長から報告をさせていただきます。

まず1件目、資料1を御覧ください。平成29年度当初予算の教育委員会の要求状況です。

表を御覧ください。左から所属、今年度の当初予算額、29年度要求額、昨年度との比較、それから12月9日に示達があったのですが、財政担当部局、いわゆる企画部長レベルでの査定内容、一番右の欄が要求段階での本年度予算と主な増減理由を記載しております。現在の編成作業の状況ですが、査定の結果を受けまして、復活要求書を提出した段階です。それを含めまして年明けから市長ヒアリングが行われます。その後、例年ですと1月20日前後になるかと思いますが、大体の金額が固まってくるという流れです。

まず歳入ですが、大きいところで教育総務課では、学校施設の改修の国庫補助金及び市債の減があります。対象となる工事が無いということです。

文化財課は、日本遺産協議会の国庫補助金が交付されるまでの間、協議会が事業を行うために市がお金を貸し付けていました。来年度に交付金が入ってきますので、貸し付けたお金が戻ってくるということで、それを歳入として受けるということです。

スポーツ課は、健康ポイント事業の補助金の増です。28年度の本事業は、補正予算で計上した経過があります。

図書館・子ども科学館は、児童図書購入費に充当した市民ファンド寄附金の減です。28年度は大口の寄附があったのですが、これが29年度はございませんということです。

歳入トータルが6,238万1千円で、28年度と比較で3,015万6千円の減となっています。

続いて歳出でございますが、教育総務課は、小中学校の施設維持管理の修繕費・工事費等の増があります。中学校の工事費が皆減となっておりますが、中沢中学校、成瀬中学校、山王中学校の3校のトイレ改修工事が28年度の国の補正予算で採択される予定ですので、これを繰り越して、来年の夏休みに工事を行う予定でございます。また、大山小学校の校舎外壁修繕も同様に国庫補助金が採択されましたので、これも来年の夏休みに工事を実施する予定です。

学校教育課は全体で減になっています。これは、今まで臨時職員として雇用しておりました給食調理員4人につきまして、任期付の短時間勤務の正規職員として職員課で採用することになりましたので、人件費である賃金を削減したということです。増額の要素としては、就学援助費について、中学校入学時に支給する準備金について、これまでの中学校への入学後ではなく、小学校6年生のときに支給するため、29年度においては、中学1年生と小学校6年生の2学年に支給するための増額であります。その次の年からは小学校6年生だけの支給になり平準化されますので、29年度の1年間だけの措置ということになります。

指導室は、児童生徒用と教職員用のパソコンの入れ替えに伴うリース料の増額です。また、人件費になりますが、ALTや教科担当制のための講師の配置のための増。それと、学校司書をモデル的に小学校2校、中学校1校に配置するための賃金の増額という要求状況です。

教育センターは、支援級の児童が増えることによる介助員の増と「まなびの教室」を1クラス増やすためのイニシャルコスト、工事費等の増という内容です。

社会教育課は、公民館の維持管理等の各種委託料の増、スポーツ課は、健康ポイント事業による増という内容です。

図書館・子ども科学館は、維持管理等の各種委託料や修繕料の増という内容です。

歳出はトータルで、15億3,756万2千円で、昨年度と比較して8,610万6千円の増となっています。

これはあくまでも要求状況ということで、ここで復活要求書を出しております。内容としては、高部屋小学校と比々多小学校のトイレ改修工事の設計費、中沢中学校の外壁修繕の設計、中学校入学準備金として前倒し支給する就学援助費、介助員1名の増配置、「まなびの教室」増設工事などです。

以上のような内容となっておりますが、先般も予算編成方針等の資料をお渡ししていると思いますが、経済の困難性だけではなくて国自体がいろいろ財政上の制度を絞ってきていますので、それに合わせて市の財政も影響を受け、大変厳しい予算査定になっていくのかなという見込みでございます。以上です。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 2件目の市議会12月定例会一般質問答弁の概要についてです。資料2を御覧ください。

1番目の小沼議員です。発言の主題は、伊勢原市の安全安心のまちづくりについてで、内容としては、不審者情報がもたらされた際の教育委員会や学校の対応についてのお尋ねでした。

答弁としては、教育委員会に情報が入った場合、学警連の連絡網で情報発信を行い、学校ではその情報をもとに児童生徒への指導を行うとともに、必要に応じて見守り活動を実施していることや、PTAや自治会等の地域の方の御協力による見回りや「あなたを守る家」の取組等が行われていることをお答えしました。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 2番目の館議員です。発言の主題は、歴史文化の継承についてで、内容としては、道標や供養塔などの石造物の保護や支援についての考え方です。御質問の背景は、市内には道標や供養塔等が多々あるのですが、それら伊勢原の大事な歴史的文化財が開発や道路拡幅工事等によって消滅してしまうのではないかとといった心配に立った御質問で、それに対する支援、対策についてのお尋ねでした。

答弁としては、石造物は道端に立つものが多く、そのほとんどが地域で管理され、個人としての所有者が不明であるため、開発や道路の拡幅工事等によって撤去される可能性があります。しかしながら、地域が先祖代々大切に保護・継承してきたものなので、大山道の道標などについては、日本遺産の構成文化財の価値を高める意味でも保護していきたいと考えている旨をお答えし、その一方で、市内に多くある文化財を全て行政で保護することには限界があること。また、地域の方々とともに大切に守っていくが重要であるといった考え方を述べさせていただきました。

再質問の中で、もう一步踏み込んだ保護の対策はないのかという御質問があり、これについては市長が答弁し、近隣市の状況を確認しながら、そうしたものを大切に引き継ぐ方策を模索していきたいと考え、課題として受けとめている旨をお答えしています。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 3番目の橋田議員です。発言の主題は、日

日向ふれあい学習センターについてで、内容としては、日向ふれあい学習センターが来年度以降について宿泊ができなくなる状況の中、影響が予想される教育委員会が関係する事業の対応状況についての御質問です。

答弁としては、教育委員会が関係する4事業のうち、教職員の採用研修、生徒会のリーダー研修、適応指導教室の3事業は、他施設を利用して継続実施する予定です。特別支援学級の宿泊学習は、保護者の意見等も踏まえて検討している状況をお答えいたしました。

○教育部長【谷亀博久】 4番目の中山議員です。発言の主題は、公共施設のトイレの改修についてで、内容としては、小中学校のトイレの現状や今後の計画について、3点の御質問がありました。

まず、1点目は、小中学校のトイレの最終改修年度とその内容についてのお尋ねです。小学校については、平成25年度に竹園小学校の東校舎の全面リニューアルを行い、それに合わせて11カ所の便器を洋式化しました。この他に便器の洋式化に特化した工事も行いまして、小学校8校で55カ所の便器を洋式化いたしました。中学校については、26年度に山王中学校2期校舎の便器1カ所を洋式化したのが最終工事の内容でございます。

2点目は、現状の和式と洋式のトイレの数と、みんなのトイレの設置数のお尋ねです。小学校が洋式289、和式295、占有率が49.48%。みんなのトイレが7、車椅子対応6、手すりつきブース12、広いブース3。中学校については、洋式112、和式188、占有率37.33%。みんなのトイレが1、車椅子対応5、広いブース4と、答弁いたしました。

3点目は、今後の改修計画についてで、答弁としては、先ほどの教育長からの予算の報告にもありましたとおり、先の国の経済対策で、中沢中学校、成瀬中学校、山王中学校の3校のトイレ改修の補助金が採択されましたので、来年夏休みに工事を行う予定であること、また、それ以外でも便器の洋式化に特化した工事も含め、着実にトイレの洋式化を図っていきたいとお答えしております。

なお、来年度に今申し上げた3中学校の改修を実施すると、中学校の洋式便器の占有率も50%を超えることになります。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 5番目の前田議員です。発言の主題は、宝城坊本堂保存修理事業についてで、内容としては、宝城坊本堂の保存修理が完了したことを受け、その総括及び確認の意味も含めた御質問が2点ありました。

まず1点目の事業の経過と成果についての御質問ですが、答弁としては、平成23年1月から工事が始まり、仮囲いの設置、本堂の解体、部材の補修等を行い、26年度からは再組み上げ、屋根のかやぶき等の建築工事を行い、本年度に建具、仮設屋根の解体、そして全ての工事が本年11月に完了したといった経過を説明いたしました。

また、その工事の進捗状況に合わせて現場見学会を開催し、延べ2千人、行政視察等を含めると3千人を超える方々に御覧いただいたことも報告させていただきました。その他、講演会や写真パネルの展示会等を開催し、貴重な文化財の保護と後世に大切に引き継ぐ必要性を広くアピールすることができたことを報告させていただきました。

その他にも工事に伴う調査により、本堂を解体した後の土の中から今から約8

00年前の鎌倉時代に建物があつた証を示すものが発見されたこと。また、約400年前の戦国時代には同規模の建物があつたことなどが判明し、新たな歴史的事実を確認することができたということも成果として報告させていただきました。

2点目ですが、今後の取組や課題についての御質問です。答弁では、今後は宝城坊を核とする観光誘客を促し、地域の活性化を図りたいと考えていること。現在の具体的な取組としては、年内12月と年明け1月にそれぞれ1回、宝城坊をテーマとした講演会を開催すること。また、7カ年の修理の経過をホームページでビジュアル的に見せられるようにしていくこととお答えいたしました。

課題ですが、築後約50年を経過した宝殿の老朽化対策や、本堂については工事が完了したばかりなのですが、30年後には、かやぶき屋根の全面ふきかえが必要なことなどが課題であること。また、お客様が増えて駐車場等の受入体制の充実が必要であるといったことを述べさせていただきました。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 6番目の田中議員です。発言の主題は、中学生の健康についてで、3点の御質問がありました。

まず、1点目ですが、中学生の学校健診の内容についての御質問で、答弁としては、身長、体重等、全11項目の健康診断を実施していること。診断により精密検査が必要な生徒には医療機関での受診を促すこと。市の医師会加入の医療機関で受診した場合は公費で負担であること。尿及び心臓病精密検査で異常が認められた生徒については、判定会を開催して判定結果を生徒及び保護者に伝えるとともに、学校においては判定結果を運動制限等の各種疾患への適切な対応に活用していることとお答えしました。

2点目は、中学生の食事・睡眠・運動に関する教育についての御質問で、答弁としては、健康に関する指導を小学校から継続して教育活動全体を通して行い、特に中学校では、保健体育や技術・家庭科を中心に生徒の発達段階を考慮しながら行っていること。また、健康な生活づくりの基本は家庭にもあることから、長期休業前の家庭への連絡や保健だより等により、健康づくりの呼びかけや、食事・睡眠・運動に関する情報提供を行っていることとお答えしました。

3点目は、中学校給食の方式とそのメリット、デメリットについての御質問で、現在、教育委員会で調査研究している4つの方式について答弁いたしました。方式としては、①自校方式、②親子方式、③センター方式、④デリバリー方式があり、それぞれのメリット、デメリットについてお答えした上で、財政健全化の取組と整合を図った中で、コストがかからない方式を調査研究しているとお答えいたしました。

続きまして7番目の山田議員です。発言の主題は、市長の所信表明についてで、内容としては、子育て世代が住みやすいまちづくりの推進についての質問の関連で、就学援助費の中で、中学校入学に際して支給する新入学学用品費就学援助費の支給時期についての再質問がありました。答弁では、小学校6年生時での支給ができるよう制度設計を検討するとお答えしました。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 8番目の萩原議員です。発言の主題は、日本遺産を通じた地域の活性化についてで、内容としては、日本遺産認定後の取組等、3点の御質問をいただきました。

まず、1点目は、伊勢原市日本遺産協議会の取組についての御質問です。答弁では、本年6月2日の協議会発足から現在までの取組状況として、教育委員会主催の教育講演会と合わせた形での日本遺産シンポジウムの開催や、巡回展示会の開催、のぼり旗や布まねきの製作等々、取組状況を細かくお答えいたしました。

また、現在、日本遺産ガイドブックの作成や構成文化財である宿坊の詳細調査、シンボルモニュメントの製作及び設置による撮影ポイントづくりなども進めていることを報告いたしております。

2点目の今後の展開についての御質問です。答弁では、ドローンを活用した空撮によるプロモーションビデオの制作、日本遺産の案内看板の設置、BS放送での放送等の調整を進めていることをお答えいたしました。また、日本遺産への認定に伴い、各種メディアからの取材が増え、伊勢原や大山詣りの名を目にする機会は確実に増えていると認識していること、また、大山地域だけではなく商店街でのイベントの実施等により、日本遺産を地域活性化に結びつけていこうとする機運が見られることや、市民団体においても大山道の研究や大山灯ろうの保存に向けた活動等が活発していることも合わせて報告いたしました。

3点目の今後の課題についての御質問です。答弁では、文化庁からの補助金が認定後3ヵ年となっているため、その後における市民や地域の事業者による自発的で持続的な取組を進める素地・基盤づくりが必要であると考えていること。また、各種団体との連携や大山と他の地域とのネットワークづくり、日向・比々多・大山の回遊性の構築、各種媒体を使った情報発信による知名度の向上を図ることによる来訪者の増加を促す必要性、そして最終的には、旅行会社による大山詣り宿泊ツアーの実現を目指し、モニターツアーの実施等により、宿泊客の拡大を図る取組を展開してまいりたいとお答えしました。

○教育部長【谷亀博久】 9番目の宮脇議員です。発言の主題は、公共施設の受益者負担についてで、内容としては、公共施設の受益者負担に関する基本的な考え方をまとめた基本方針(案)について、今後、パブリックコメントを行う予定ですので、その関連で、公民館はその計画の対象から外すべきではないかというお考えからの御質問がありました。行財政改革担当部長が答弁しています。答弁の内容としては、公共施設の設置目的や利用状況はさまざまですので、公共施設の受益者負担に関する基本方針は、市民の利用に供する全ての施設を検討の対象としており、実際の使用料の設定に当たっては、基本方針に基づき使用料設定の可否を含めて結論を導き出すことが必要であると考えているので、公民館のみを最初から検討の対象から外すことは、市民の理解が得られないものと考えていると答弁しています。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 10番の八島議員です。

発言の主題は、学校でのいじめ、不登校対策の現状と課題についてで、大きく2つの御質問がありまして、平成27年度のいじめ、不登校の課題とスクールソーシャルワーカーの課題等に関する御質問です。

まず1点目ですが、さらに細かく3つの質問に分かれています。1点目の一つ目として、いじめや不登校の未然防止、早期発見、指導等についてのお尋ねです。答弁では、平成27年度の問題行動調査では、いじめは小学校31件、中学校19件、合計50件で、小学校で13件増えていることを説明し、増えた理由とし

て、文部科学省の「いじめの認知件数が多い学校は教職員の目が行き届いていることのアカシである。」という見解を受けまして、各学校が正確にいじめを認知しようとしている結果と捉えており、また、いじめ改善率が100%となっていることは、学校が被害者の立場に立って丁寧に対応した結果であると認識していることをお答えしました。未然防止に向けては、道德教育、学校生活全体を通じて児童生徒の自己肯定感を育む指導を行うとともに、早期発見・早期解決として、定期的なアンケート調査や教育相談の実施、学校いじめ防止対策委員会による組織的な対応を行っていることをお話しさせていただきました。

不登校については、小学校22件、中学校79件で、合計101件となっております。休み始めから複数の教員による組織的な対応を図り、長期化したケースにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用しながら関係機関と連携した対応を行っていることを答弁しました。

次に1点目の二つ目ですが、いじめ、不登校に対する指導についてのお尋ねです。いじめの態様は、「冷やかす、からかい」「軽くたたかれる」の2点が多いということで、日ごろから児童生徒を観察すること、学校ではいじめを訴えやすい雰囲気づくりやいじめを許さないという意識づくり、思いやりの心を育てる指導に取り組んでいること。また、課題としては、学校現場がいじめに対する対応意識を常に持ち続けることが必要であることをお答えしました。

不登校の要因としては、家庭環境の急激な変化が最も多いですが、様々な要因が複数組み合わさっているのが実態であること。休みはじめだした児童生徒には、電話、手紙、家庭訪問を行うなどの対応をしていること。また、長期化した場合には、ケース会議を開催して個人の特性に合わせた支援を行っていることをお答えしました。

次に1点目の三つ目ですが、伊勢原市いじめ防止基本方針作成前と作成後の取組に違いがみられたかというお尋ねです。答弁としては、教職員の意識が向上し、組織的に対応していること。また、組織力が向上したことで認知件数がわずかではありますが増加し、未然防止、早期発見・早期対応につながっているとお答えしました。

続いて2点目ですが、スクールソーシャルワーカー配置での課題及び学校・家庭・地域の連携についての御質問です。答弁としては、いじめや不登校の児童生徒への対応、その他緊急対応が必要な場合には、学校、関係機関、スクールソーシャルワーカー、民生・児童委員等、必要に応じたメンバーが集まるケース会議を行い、それぞれ役割を確認して対応していること。また、課題としては、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置の充実、活用に対する学校現場の理解促進を図ることが必要であるとお答えしました。

続きまして、11番の土山議員です。就学援助制度についてと、再質問で、一般廃棄物処理基準計画の改定案についての御質問がありました。

まず、就学援助制度ですが、3点の御質問がありました。

1点目は、本市の支給基準についてのお尋ねです。答弁では、生活保護世帯、準要保護世帯、その他災害等の理由により収入が著しく減少すると認められる世帯が支給対象者となり、支給額の基準は、生活保護基準の1.5倍で、過去に文部科学省が指導した最高基準を採用していること。また、国に対して国庫補助対象

の拡大の要望を続けていくことをお答えしました。

2点目は、支給時期の改善についてのお尋ねです。答弁では、1回目の就学援助費の支給時期が8月になるのは、当初課税が確定する6月1日以降に認定審査を行うためであるため、支給時期を早めることは難しいこと。一方で、中学校入学時に必要な新入学学用品費の支給については、小学校6年生時での支給の実現に向けた制度設計を検討することをお答えしました。

3点目は、周知方法についてのお尋ねです。答弁としては、毎年、就学援助制度のお知らせを作成し、学校を通じて児童生徒の保護者に案内するとともに、入学説明会でも周知をしていること。また、学校では児童生徒の家庭状況を見ながら申請の働きかけを行っていることをお答えしました。

続いて、一般廃棄物処理基本計画の改定案についてですが、食品ロス削減について、小中学校ではどのような取組がなされているのかという御質問でした。答弁では、食品ロス啓発の必要性から小学校では給食の場で、中学校では家庭科の学習の場で指導していること。また、学校給食調理施設においても、食品廃棄物を減らす取組を行っていることをお答えしました。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 最後に12番の斎藤議員です。

発言の主題は、伝統文化の継承についてで、3点の御質問がありました。

質問の背景としては、質問された斎藤議員が伊勢原青年会議所のメンバーになっておられ、その青年会議所の取組で、大山こまの大会や納め太刀ウォークを開催していますが、そうした事業展開を通じて伝統文化の継承が危惧されるといったことからの御質問でした。

1点目は、大山こまの継承についての御質問です。答弁では、大山こまを製作できる木地師が現在3人ということで、やはり技術の継承が危うい状況にあることを申し上げ、そうしたことから、大山こま自体は、現在、文化財保護条例に基づく文化財として指定・登録制度により保護していくことを検討していること。技術を伝承していく後継者の育成方法の検討には至っていないことをお答えしました。

斎藤議員からは、大山こまづくりの教室を開いて後継者を育成したらどうかといった御提案があり、貴重な御提案・課題として受けとめさせていただきました。

2点目は、納め太刀の継承についての御質問です。答弁では、納め太刀は、認定された日本遺産のメインテーマである「大山詣り」の他に類を見ない風習であります。大山講の数の減少とともに、納め太刀の風習も少なくなっている現状をお答えいたしました。なお、日本遺産協議会では、納め太刀の復興の期待を込めて小さなミニチュア木太刀を製作し、宿坊の宿泊客やイベント等で活用している現状もお話しさせていただきました。やはり、この納め太刀については、一つの宗教的行事であることから、宿坊の存続と連動するため、日本遺産を生かした地域活性化に向けた取組を展開し、宿坊の存続や発展に寄与することが納め太刀の継承に結びつくものであるという認識を述べさせていただきました。

○教育部長【谷亀博久】 続きまして、資料3を御覧ください。新教育制度への意向に関する調査結果です。

平成27年4月1日から施行されました新たな教育委員会制度への移行に関する調査を文部科学省が発表しています。平成28年9月1日時点の結果です。



調査結果の見方ですが、平成27年12月1日時点と、28年9月1日時点と比較しています。グラフについては、上段が都道府県・指定都市、下段が市町村になっています。市町村について若干説明させていただきます。

最初に、教育長についての問いで、新しい制度の教育長を任命している市町村は49.3%、新教育長の内訳で、旧教育長の任期満了を受けて新たに任命した市町村は41%、旧教育長の辞職を受けて任命した市町村は59%でした。新教育長の職経験ですが、複数回答可で、教育行政経験者が590市町村で約70%、一般行政経験者が177市町村で約20%です。教育職員経験者が513市町村で約60%でした。新教育長が新任なのか、旧教育長を改めて任命したのかといった問いに、新任が51.4%、旧教育長だった者が48.6%でした。新教育長の任命手続について、議会で教育長候補者が所信表明と質疑を行ったところが5.2%、教育長候補者の所信表明のみが18.2%、首長による質疑応答があったところが28.5%、質疑はなく採決のみが40%でした。

次に総合教育会議についての問いです。開催状況で、98.7%が既に開催しています。未開催が22市町村でした。神奈川県内では全ての市町村が開催しています。総合教育会議の事務局ですが、首長部局が担当48.5%、首長から教育委員会事務局に委任されているところが23.7%、教育委員会事務局が補助執行しているところが27.8%です。伊勢原市は補助執行です。議事録についてですが、64.6%が詳細な議事録を作成しています。概要のみが34.6%です。伊勢原市は詳細な議事録を作成してホームページで公表しています。会議の内容ですが、主なものを紹介しますが、大綱の策定が1,689市町村、総合教育会議の運営に関する必要な事項が1,285です。重点的に講ずべき施策についての協議・調整した内容について、300市町村以上が議題とした内容を紹介します。学校等の施設の整備が624市町村、幼児教育・保育のあり方やその連携が320、子育て支援が364、ICT環境の整備が355、学校への専門人材や支援員の配置が328、学校の統廃合が345、学力の向上に関する施策が589、いじめ防止対策が494市町村というような状況です。今紹介しました施策についての協議・調整内容について、第三者から意見を聞いているかという問いですが、意見を聞いているが7.5%、残りのところは意見聴取していないということで、伊勢原市の場合もこれまで意見聴取はしていません。会議を通じた首長部局との連携については、連携を進めることができたが42.4%、従来からの連携を継続させているが40.9%、効果はまだ分からないが16.7%で、伊勢原市については、従前からの連携を継続させているで回答しています。総合教育会議以外で教育委員会と首長が意見交換する機会について、未開催が約77.5%、1回が15.1%です。本市では従前から情報交換会で意見交換をしておりますので、機会は1回と回答しています。

最後に大綱についての問いですが、策定済の市町村が91.9%で、そのうち、大綱として新たに策定したところが58.7%、伊勢原のように教育振興基本計画を充てたという市町村が33.2%でした。

○学校教育担当部長【大高敏夫】　　続きまして、4件目の行政文書公開に係る審査請求に対する決定についてです。資料はございません。

教育委員会8月定例会で報告させていただきました学校教育課が所管する事

務に関する行政文書の一部公開決定を不服とした審査請求に関する案件でございます。対象となります行政文書は、平成26年度の体罰に関する事故報告書です。公開することにより、個人の権利・利益を害する恐れがあります体罰事故の発生日時、発生した学校名、教職員名、被害を受けた児童生徒の学年・組、氏名等に関しまして、平成28年4月15日付けで非公開を決定したところですが、4月26日付で請求者よりこの決定を不服として教育委員長宛に審査請求書が提出されました。7月19日付の審査請求書の修正等を経て、7月28日付で情報公開審査会に諮問し、11月25日付で審査会より答申をいただきました。答申では、報告書で非公開とした体罰事故の発生日時、発生場所のうち、学校名及び加害教員が当時勤務していた所属と学校コードについては、公開することで特定の個人が識別される情報とは認められないとの判断が示されました。

教育委員会としては、審査会の答申を尊重し、公開すべきとされた部分の非公開決定を取り消すことを決定し、審査請求人には決定書を送付しました。

○委員長【永井武義】 ありがとうございます。

ただいまの教育長報告4件につきまして、ここで委員の皆様から御意見、御質問がございましたらお願いいたします。

それでは、私から質問いたします。平成29年度当初予算教育部要求額の御説明がございました。財政が非常に厳しい中で予算を組んでいると思いますが、指導室の歳出の部分で2,300万円近くの要求増があります。これは、学校司書のモデル校の賃金増ということで、先ほど教育長から新規事業で小学校2校、中学校2校で実施するという御説明がございましたが、具体的な内容について、御説明いただければと思います。

○指導室長【石渡誠一】 平成26年度に学校図書館法が改正され、それを受けて学校図書館の重要性が増してきました。現行では、図書整備員が配置されていますが、司書の配置により本の紹介の仕方や興味を引くレイアウト等、子どもたちの読書活動を推進するため、学校図書館の充実を図ろうということで、モデル事業として予算要求したものであります。

○委員長【永井武義】 ありがとうございます。今後拡大する可能性も大いにありということですね。

○教育部長【谷亀博久】 総合計画後期基本計画が30年度からスタートしますので、その中に盛り込む予定ですが、その前年の29年度に試行的に実施してみたいということで予算要求したものです。今のところ来年度は難しい状況ですので、後期基本計画にはしっかりと計上し、今後、司書の配置を推進していければと考えています。

○委員長【永井武義】 ありがとうございます。

御意見、御質問がございましたらお願いいたします。

○委員【菅原順子】 いくつか質問させていただきます。予算要求のところ、産業医の配置とありますが、どこの学校でしょうか。

○学校教育課長【守屋康弘】 労働安全衛生法により、常時50名以上の労働者が働く事業所については、産業医を1人以上配置することになっておりますので、伊勢原中学校は常時50人以上の教職員がおりますので配置するものです。

○委員【菅原順子】 分かりました。次に市議会定例会の答弁の概要で、八島

議員から、いじめ、不登校の態様についての質問に対する回答で、いじめの要因の分析の記載がありませんが、根本的ないじめの要因を把握し、そこに対してしっかりと支援していくことが大事だと思います。

○指導室長【石渡誠一】 委員がおっしゃったことは非常に大事なことで、いじめの要因について、その背景をしっかりと把握して対応するよう努めていきます。

○委員長【永井武義】 他にいかがでしょうか。

○委員【渡辺正美】 今の話に関連して私の意見ですが、いじめ、不登校の問題は、どうしても「学校」のいじめ、「学校」の不登校というように捉えがちになります。もちろん学校へ行かないことが不登校ですから学校が当事者であることには間違いはないのですが、その要因として、子ども同士の関係、教職員と子どもとの関係、その部分が非常にクローズアップされていると感じます。一方で、家庭でのしつけや教育、あるいは地域の大人との関わりの中で、いじめはダメだよとか、思いやりの気持ちが大事だよなどといった教育と申しますか、説諭されることが大事ではないかと思えます。そのようなことも踏まえてPTA等を通して家庭に呼びかける様々な資料を配布していると思えます。ですから、学校と家庭は両輪となって問題意識を共有して対応していく必要があると思えます。

○指導室長【石渡誠一】 家庭や地域向けの資料として、平成25年12月にいじめ・不登校防止啓発資料を作成して配布しています。また、平成26年9月に伊勢原市いじめ防止基本方針ができた際も、家庭や地域、あるいは様々な関連団体等に説明をさせていただいております。今後も渡辺委員から御意見いただいたような考えのもと、保護者や家庭、地域と一緒にいじめや不登校について考えていきたいと思えます。ありがとうございます。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 校長会からは、自治会長や民生委員、主任児童委員等と話し合う、いわゆる学校地域連絡会の場で、PTAも含めまして登下校のときなどに、子どもたち同士の様子でちょっとおかしいようなところがあったら、皆さんからも声をかけていただくようお願いしているといった報告を受けております。

○委員【重田恵美子】 田中議員の学校健診の質問に関連してですが、市医師会加入の医療機関で受診した場合は公費負担にしているとのことですが、家庭の利便性を考えて健康診断はどこでやっても無料という方向になっていただきたいと思えます。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 貴重な御意見として承ります。ありがとうございます。

○委員長【永井武義】 私から一般質問の答弁のところ、石像などの保護に関する質問が2点あります。

まず1点目ですが、館議員の質問に対する答弁で、石像等の保護について、近隣市の方策を調査しながら検討していきたいということですが、具体的に市で保護する事例というか、案があるのでしょうか。2点目が、前田議員の質問に対する答弁の中で、宝城坊をテーマにした講演会とありまして、先般12月11日の日曜日に中央公民館で開催されましたが、参加者の人数や講演内容、参加者の反応といったことを御説明いただければと思えます。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】　　まず石造等の保護の具体的な方策ということですが、先ほど申し上げたとおり、条例に基づく指定登録が1つの方策だと考えます。また、先ほどの説明の補足になりますが、この件に関する土木部に対する再質問の中で、開発や道路の拡幅等を行う場合には、どのような対応をとっているのかという質問がありました。土木部の答弁としては、現行ルールでは、他の場所への移設が基本となるという旨の答弁がありました。いずれにしましても、地元の力添えが大事なことは確かでございます。

この御質問が通告された後に地域を歩いてみたのですが、あまり開発が進んでいない地域では石造物が結構残っていました。開発が進んで道路がきれいになっているところでも、道路の脇に囲われてしっかりと保護されているものもありました。やはり地域の協力が重要であると認識した次第であります。

○文化財課長【立花実】　　続いて宝城坊の講演会の件ですが、竣工を記念いたしまして、12月11日の日曜日に中央公民館で開催いたしました。

文化財保護審議会委員で、宝城坊の修理委員長をお願いしています清水擴先生に御講演をいただきました。参加者は60名でした。清水先生は建築に詳しい方ですので、仏教の宗派による仏堂や建築様式といった基本的なところから、歴史的にみて宝城坊がいかに東国地方において希な規模と歴史、由緒を持っていたかということについて、その背景をわかりやすく説明していただきました。

参加者の方々も非常に満足され、改めて伊勢原の歴史の深さを感じ、それらの一端に触れられたといったような感想もいただきました。

○委員長【永井武義】　　ありがとうございました。

それでは、他にないようでしたら次に移りたいと思います。

----- ○ -----

## その他事項

○委員長【永井武義】　　続きましてその他事項でございますが、委員の皆さんから何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは事務局からお願いいたします。

○教育総務課長【古清水千多歌】　　平成28年度第2回総合教育会議の開催について、資料4を御覧ください。開催日時は平成29年1月31日火曜日、午前10時から、会場は伊勢原市役所3階の議会全員協議会室になります。協議事項は、「子どもの心の教育」についてです。資料には、参考とし今までの会議のテーマを記載しております。裏面を御覧ください。今回の会議の趣旨ですが、高山市長2期目の本格的なスタートに当たり、教育分野における各施策に対する市長の考え方、方向性を示すとともに、昨今の学校教育における課題について、市長と教育委員の皆様と意見交換を行い、相互理解と共通認識を図るというものでございます。会議の流れにつきましては、市長、永井教育委員長の御挨拶に続いて、市長2期目に当たっての教育に関する所信表明の後、協議事項について意見交換をしていただきます。

具体的な協議事項の内容ですが、学習指導要領の一部改訂により、道徳の教科

化が始まることや、横浜市における原発事故に絡んだいじめの問題などを踏まえ、学校だけでなく、家庭や地域とのかかわりなども含めた子どもの道徳教育、人権教育について意見交換をお願いいたします。

○教育部長【谷亀博久】 まちづくり市民ファンド寄附金による市立図書館児童新書架開設についてです。資料5を御覧ください。こちらの事業につきましては、昨年度、市民の方からまちづくり市民ファンド寄附金として高額な御寄附をいただき、その際、寄付者から児童図書の実を求めて欲しいという御要望がありました。春先から準備を進めてきまして、来年早々には完成するというところで報告をさせていただくものです。

御要望であります児童図書の充実については、伊勢原市子ども読書活動推進指針にもありますとおり、家庭・地域・学校と教育機関、行政が連携し、伊勢原市で生活している子どもたちに、自分自身の年齢や心の成長に合った本と出会える環境を提供していこうとあります。指針では、子どもたちをゼロ～1歳、1歳～6歳、6歳～12歳、12歳～15歳、15歳～18歳と5つの年齢層に分け、それぞれの段階でテーマを設けています。今回の書架の新設にあたっては、それらの年齢層に合わせた形で設置していこうというものです。図書の選定に当たっては、市内の保育園、幼稚園、小中学校、高等学校、図書館で活動しているボランティア団体等にアンケートを実施しまして、約500冊の推薦をいただきました。市で選書をしたものを加えまして全部で1,400冊程度の資料を揃える予定です。

図書館2階の従来本棚が並んでいたところの横に、新たに書架を10台設置し、先ほど申しあげました年齢層に応じて図書を配置いたします。完成は1月下旬から2月上旬を予定しています。完成しましたら改めて御案内をさせていただきますので、是非御覧いただければと思います。

○指導室長【石渡誠一】 平成28年度作文・ポスター・コンクール等の入賞者です。資料6を御覧ください。まず、作文・ポスター・コンクール等の入賞者です。夏休みの課題を中心に児童生徒が作文やポスターその他のコンクール等に応募し、国、県、中地区等において上位入賞した結果についてまとめました。詳細は後ほど御覧ください。

次に神奈川県中学校総合体育大会の駅伝競走大会の結果です。県大会の結果については9月に報告いたしました。本大会はそれ以降に行われましたので、このタイミングでの報告になります。

文化面、体育面におきまして、伊勢原の子どもたちの頑張っている面がうかがえるのではないかと思います。

○社会教育課長【小谷裕二】 第52回伊勢原市民文化祭についてです。資料7を御覧ください。10月から11月にかけて中央公民館、市民文化会館、総合運動公園を会場に、市民等の日ごろの活動内容の成果を展示・発表する市民文化祭を開催しました。この展示・発表に合わせまして、鑑賞に来られた一般の方も気軽に参加できる体験教室等のイベントを催し、茶道体験等、大変好評でありました。最終的な入場者数は1万17人で、昨年度よりも約600人増えています。

○スポーツ課長【小巻宏幸】 続きまして、スポーツ課から3件報告をいたし

ます。

初めに第46回市民走れ走れ大会の結果についてです。資料8を御覧ください。去る12月11日の日曜日、晴天のもと、伊勢原市総合運動公園内で開催いたしました。大きな事故や怪我もなく無事終了することができました。結果につきましては資料のとおりです。18部門の第1位から第3位までの選手名、所属、記録を記載しています。申込み人数は全体で714人、完走者は650人となっており、昨年と同程度の申込み、完走者となっております。

続きまして、第34回伊勢原駅伝競走大会の申込み状況についてです。資料9を御覧ください。年明け1月15日の日曜日に開催いたします。申込み状況は、中学生以上で構成される伊勢原駅伝の部に70チーム440人、小学校5・6年生を中心に構成されるミニ駅伝の部に43チーム257人、合計で113チーム697人のエントリーでございます。既に委員の皆様には御案内しておりますが、本年度は諸般の事情によりまして、伊勢原駅伝の部とミニ駅伝の部についてそれぞれ場所を変えて開会式、スタートを実施いたします。ミニ駅伝の部は専修大学の伊勢原総合グラウンドで午前8時から開会式、午前8時30分から女子の部がスタートします。その後、運動公園に場所を移動しまして、午前9時から伊勢原駅伝の部の開会式、スタートを午前10時に行う予定となっております。

次に、第32回大山登山マラソンの申込み状況についてです。資料はございません。来る3月12日の日曜日に開催いたします第32回大山登山マラソンの12月16日時点での申込み人数は2,745人です。定員枠を超えましたので、この時点で参加申込みを締め切りました。例年とほぼ同数の参加申込みで、北は北海道から、南は沖縄までお申込みをいただきました。また、通常の申込みとは別枠で、ふるさと納税の返礼品として、大会への招待券と付加価値のサービスを付けたセットメニューを設けました。招待券にゲストラナーのサイン入り色紙とオリジナルバッグをプレゼントする1万5,000円コースに7名の方、また、招待券に大山の宿坊に前泊できる4万円コースに2名の方、合計で9名の方にお申込みをいただきました。こちらの申込み期限は、12月31日までとなっております。この申込み状況の詳細につきましては、1月の定例会で再度報告をいたします。

○教育総務課長【古清水千多歌】 最後に教育委員会1月定例会についてです。平成29年1月24日火曜日、午前9時30分から、市役所3階第2委員会室、今日と同じこの場所での開催となります。

○委員長【永井武義】 それでは、これまでの報告について、御意見、御質問などがございましたらお願いいたします。

○委員【菅原順子】 図書館児童新書架の開設の件ですが、書架のタイトルに「子どもに であわせた本」とありますが、すごく大人目線に感じますので、子どものコーナーですので、もう少しやわらかい表現の方がいいのかなと感じました。

○教育長【鈴木教之】 これについては、寄附者の意思だとかがあって、寄附者とある程度相談をしていると思います。今日は館長が不在ですので、いずれにしても確認して改めて報告いたします。

○委員長【永井武義】 よろしいでしょうか。

それでは、本日の教育委員会議はこれをもって閉会とさせていただきます。

なお、年度末ではございませんが、歳末に当たりまして、ことし1年間の感謝を申し上げますとともに、来年も各校の安全と、児童生徒の心身の健やかな成長、また、教育行政の充実・発展を願い、閉会させていただきます。ありがとうございました。

----- ○ -----

午前10時46分 閉会

《会議配布資料》

- 資料1：平成29年度教育委員会当初予算要求額
- 資料2：市議会12月定例会一般質問答弁の概要
- 資料3：新教育委員会制度への移行に関する調査結果
- 資料4：平成28年度第2回総合教育会議の開催
- 資料5：まちづくり市民ファンド寄附金による市立図書館児童新書架開設
- 資料6：平成28年度 作文・ポスター・コンクール等の入賞者及び神奈川県中学校総合体育大会中ブロック大会結果一覧
- 資料7：第52回伊勢原市民文化祭実施報告
- 資料8：第46回市民走れ走れ大会結果
- 資料9：第34回伊勢原駅伝競走大会申込状況

《その他配付資料》

- ・教育委員会関連主要行事一覧（平成28年度1月・2月）
- ・あふり所報第135号
- ・子ども科学館ニュース Vol.123